

議決権行使レポート

証券コード 6428

会社名 オーイズミ

	賛成	反対	棄権
第1号議案 余剰金の処分の件	○		
第2号議案 取締役5名選任の件			
大泉 政治氏	○		
大泉 秀治氏	○		
柿澤 孝勇氏	○		
北村 稔氏	○		
鹿野 美紀氏	○		
...			

上記の推奨をした理由

・第1号議案

当期の配当性は17.3%でありISSが賛成を推奨している15%~100%を満たしている。また2022年度は52%、2021年度は17.2%、2022年度は22.2%と継続的にISSの基準に収まっているため財務の健全性に問題はないと考えられる。よって第1号議案に賛成である。

・第2号議案

当期のROEは8.9%である。また過去5期のROEの平均は5.74でありISSが定める過去5期のROE平均の基準を満たしている。社外取締役の割合は50%で3分の1以上であり、女性取締役も一名以上を満たしている。さらに鹿野氏は同社及び同社傘下の会社で勤務経験がなく、独立性が保たれている。よって第2号議案について賛成である。以下各氏について理由を述べる。

大泉 政治氏

株式会社オーイズミの創業者であり、1974年より代表取締役社長を務め、2015年には代表取締役会長となっていることから、豊富な経験、実績、そして強力なリーダーシップを持っていることから会社の企業価値の持続的向上に必要であると判断した。

大泉 秀治氏

2015年より同社の代表取締役社長を務め、企業の事業全般を統括し、強いリーダーシップと豊富な知見を持ち会社経営に必要であると判断した。

柿澤 孝勇氏

2022年より同社専務取締役を務め、さらに傘下の下仁田物産の代表取締役社長も兼任している。同社の技術部門、購買部門の責任者に携わり技術力向上とコスト削減を推進し同社にとって必要だと判断した。

北村 稔氏

2020年より取締役管理部長を務め、同社の経理、財務、管理部門の責任者に携わり、経営強化及び業務効率化を推進するために必要であると判断した。

鹿野 美紀氏

2022年に社外取締役に就任し、弁護士として企業法務に携わり、法律、コンプライアンスに関する専門的な見識と豊富な経験を有していることから同社に必要な人材だと判断した